

【テーマ2：異校種間連携型教員研修及び授業研究高度化モデルの構築 ー幼児教育と小学校教育をつなぐ非認知能力育成研修プログラムー】

【京都光華女子大学】

京都大学学際融合教育推進センター
大阪大谷大学
光華幼稚園
光華小学校
京都府教育委員会学校教育課幼児教育センター
京都府私立幼稚園連盟
京都市私立幼稚園協会

モデル開発概要

現場における課題

- ◆ 多忙な教員の物理的・時間的制約の克服
- ◆ 幼児教育と小学校教育をつなぐ汎用的な能力育成に係る教員研修や授業研究が体系化されていない。

モデルの概要

- ◆ 学びのコミュニティを形成するLMSを活用した異校種間連携型教員研修及び授業研究の推進
- ◆ 非認知能力、認知能力の関係に焦点をあてた幼児教育と小学校教育をつなぐ体系的で汎用的な授業研究プログラムの開発

活用する技術・ツール等

- 研修eラーニングコンテンツ1、2、3、4、5
- SELを成功に導くための五つの要素

高度化に資する取組



◆ LMSを活用した異校種間連携型教員研修及び授業研究事前に研修テーマについてオンライン、オンデマンドで学び、自己課題や解決したい問いを持ち、対面研修及び授業研究を行う研修プログラム。受講後は、研修参加者が更なるネットワークを形成する。

◆ 研修eラーニングコンテンツの活用教員研修、授業研究オンライン研修、オンデマンド型研修、対面研修に加え、受講者自身が研修内容をカスタマイズする研修プログラム。デジタルポートフォリオによる研修履歴の蓄積。

モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

- ◆ 研修スタイルの多様化の中で、目的に応じて効果的な研修内容と研修スタイルを組み合わせることや、意図的、自覚的な構築がポイントとなる。
- ◆ 異校種間連携型教員研修を展開する際、SEL、非認知能力の育成に焦点をあてることで、異校種間の共通性を見出すことができ、幼児教育と小学校教育を具体的につなぐことが可能となる。異校種間の交流は、ものの見方・考え方を拡充してくれる。